

平成23年度 学校評価実施報告書

学校目標	取組みの内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善の方向等		
工業高校生としての基礎基本を身につけさせるとともに、個性の伸長を図り、学力の向上をめざす。	<p>○専門技術を習得するための基礎・基本を定着させるとともに、資格取得に積極的に取り組み、進路先から期待される学力の向上を図る。</p> <p>○生徒による授業評価や研究授業・校内研修を通して、生徒の学習課題を把握し、授業改善を図る。</p> <p>○生徒の実情や進路希望に応じた教育課程や授業展開の方法等について継続的に検討する。</p>	<p>○「学習習慣が身に付いた」という生徒及び資格取得者数が昨年より増えたか。</p> <p>○生徒の授業への満足度が80%を超えたか。</p> <p>○研究授業・研修会の実施が昨年より増えたか。</p> <p>○シラバスの改善・充実ができたか。</p> <p>○個々の生徒の実情に応じた補習・補講ができたか。</p>	<p>○各種検定や資格取得に生徒が積極的に取り組み、受検者数、合格者数は増加した。特に、1年生では計算技術検定及び情報技術検定を全員受検し、計算技術検定では7割が合格している。</p> <p>○「学習習慣が身に付いた」「実習をつうじて、いろいろな技術が身に付いた」と感じている生徒は昨年より増加した。</p> <p>○3年生では、就職や進学に必要な学力を身につけるように指導し、概ね、希望する進路に進むことができた。</p> <p>○外部講師による授業改善研修会を実施したことで、授業改善に対する取り組みが前進した。</p> <p>○「わかりやすい授業が行われている」「学びやすい雰囲気である」と感じている生徒は昨年より増加した。</p> <p>○担任と教科担当と連携した粘り強い指導により、課題の提出状況がよくなった。</p> <p>○シラバスの内容を充実させるため、様式の改定を行った。</p> <p>○追指導の機会設定の手順を明文化したことで、きめ細かい指導が徹底された。</p> <p>○生徒の科目選択を早期に決定することができた。</p>	<p>○生徒が各種検定や資格取得に向かう意欲を引き出し、補習等の丁寧な指導を行いながら、検定等の合格率を上げる。</p> <p>○検定合格等の成功体験を学習意欲の向上につなげ、学習習慣を身につけさせる。</p> <p>○学年と進路グループと連携して、生徒の進路希望に応じた対応を早期からおこなう。</p> <p>○授業見学、生徒による授業評価アンケートがさらに有効活用できるように、「授業改善の個人総括シート」の作成方法を改善する。</p> <p>○生徒参加型の展開を積極的に取り入れ、生徒の意欲を引き出しながら授業を展開する。</p> <p>○課題未提出者に対して、一覧表や連絡メモなどで徹底を図る。</p> <p>○様式改定の成果を検証し、さらなる充実を図る。</p> <p>○取組みや成果のおもしろくない生徒への追指導を徹底し、一人ひとりの状況に応じた対応をおこなう。</p> <p>○LHRや総合ガイダンスの時間を有効活用し、生徒の系・科目選択のさらなる充実を図る。</p>	<p>【保護者】</p> <p>○教育レベルをもっと向上させ、学校全体の底上げをしていく必要がある。</p> <p>○資格試験の知らせを早くしてほしい。また、夏休みなどに資格に対する勉強会などの機会をもっと増やしてほしい。</p> <p>【学校評議員】</p> <p>○進学と就職とで指導内容が異なる力を入れるところを考える必要がある。1年生の授業の理解度では、国語が低く、就職希望者にはコミュニケーション能力や文章を書く力を身につけさせたほうがよい。</p> <p>○先生方の授業改善に対する姿勢を伺うことができた。継続して取組んでほしい。</p> <p>○点検や評価は細かく行われ、個々の目標に対しても改善が図られている。継続することが必要。学校全体として育てる生徒像のグラウンドデザインをはっきり示すことが必要である。</p>	<p>【学校評価】</p> <p>○各種検定や資格取得に向けての補習など、丁寧な指導を行い、受検者数、合格者数を伸ばすことができた。検定に合格することにより、意欲をもって次の級に挑戦する生徒も増えている。</p> <p>○計算技術検定と情報技術検定については、1年生全員が受検する体制をつくることができた。</p> <p>○言語活動を取り入れた生徒参加型の授業を目指して、授業改善に向けた意識啓発に取り組むことができた。</p> <p>【改善方策等】</p> <p>○計算技術検定や情報技術検定の合格率を上げるための取り組みを、総合技術科を中心に全職員で実施する。</p> <p>○言語活動を取り入れた生徒参加型の授業をめざし、さらなる授業改善に取り組む。</p> <p>○生徒がより主体的に課題研究に取り組めるよう、大学と連携した活動に取り組む。</p> <p>○類型選択の導入や新たな必修科目等を導入した教育課程を検証しながら、新学習指導要領に対応した教育課程を検討する。</p>
キャリア教育・進路指導の充実を図り、生徒の進路希望の実現をめざす。	<p>○インターンシップへの参加を推進し、社会的・職業的自立に向けた態度を育てる。</p> <p>○生徒の進路実現のため、学年、グループ、各系との連携を密にして、進路指導の充実を図る。</p>	<p>○「総合ガイダンスが有益である」「進路希望に応じた進路指導が行われている」という生徒が昨年より増えたか。</p> <p>○インターンシップへの参加者が昨年より増えたか。</p> <p>○生徒一人ひとりに応じた就職指導や進学指導ができたか。</p>	<p>○「進路説明会や進路ガイダンスなどが充実している」「進路希望に応じた進路指導が行われている」と感じている生徒が昨年より増加した。</p> <p>○1年生は自主的に系選択ができた。</p> <p>○インターンシップの参加者は昨年より増加し、参加した生徒にとっては、進路に対する意識づけができた。</p> <p>○社会情勢の影響は少なからずとも受けたが、早期から生徒に情報発信し、きめ細かな指導を行った結果、生徒は積極的に進路活動をおこない、希望する進路に就くことができた。</p> <p>○面接週間を有効に活用し、就職面接対策を実施したことで、生徒は自信を持って面接試験に望むことができた。</p>	<p>○1年次からキャリア教育を充実させるため、総合ガイダンスやLHR等を充実させるとともに、全職員が協力して対応する。</p> <p>○インターンシップを受け入れてもらえる企業をさらに開拓する。</p> <p>○2学年後半から情報提供を行い社会の変化に対応できるような、生徒と保護者の意識を変えていく努力を継続する。</p> <p>○年々コミュニケーション能力の低い生徒が増加しているため、学力試験、面接試験の対策をさらにきめ細かく指導していく。</p>	<p>【保護者】</p> <p>○将来の進路をきちんと考えている生徒には、いい学校だと思う。</p> <p>○進学や就職に対する指導が、タイミングなど適切であった。</p> <p>【学校評議員】</p> <p>○ものづくりの力を育てる学校であり、良い条件があるから、それを活かして生徒を育ててほしい。</p> <p>○企業との関わりは、パイプを太くしていく必要があり、インターンシップなども良いものにするため、遠慮せずさらに協力要請してもよい。商工会議所なども活用し、企業との情報交換・連携を活発にしてほしい。</p>	<p>【学校評価】</p> <p>○3年生については進路実現に向けて個別に対応することができ、就職希望者の内定率は100%であった。また、進学についてもAO入試や推薦入試を中心に生徒の希望が実現できている。</p> <p>○インターンシップや職場見学の機会を増やすとともに、参加生徒による報告会の実施や、協力企業への報告集の提供等により、事前事後指導の徹底ができた。</p> <p>○企業や大学との連携により、生徒が最先端の技術を学ぶ機会を提供でき、進路を考えるうえで貴重な体験をすることができた。</p> <p>【改善方策等】</p> <p>○学力試験や面接試験の対策を充実させ、生徒の進路実現を支援する。特に、高校生活で体験したことを意識化させ、自分のことばで自分の力や気持ちを表現できる力を身につけさせる。</p> <p>○企業と情報交換しながら密接な関係をつくり、インターンシップの受け入れ先を開拓する。</p> <p>○企業や大学との連携を深め、最先端の技術を学ぶ機会を提供する。</p>

平成23年度 学校評価実施報告書

学校目標	取り組みの内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善の方向等		
規範意識を身に付けさせ、社会から期待される主体的な行動力を持った生徒の育成をめざす。	<p>○基本的な生活習慣を確立し、社会生活に必要なマナーやルールに対する規範意識の育成を図る。</p> <p>○学校行事に対する生徒の主体的な取組を支援するとともに、部活動の活性化を図る。</p>	<p>○遅刻、服装・頭髪のルール違反、特別指導の件数が昨年より減少したか。</p> <p>○学校行事や部活動に積極的に取り組む生徒が昨年より増えたか。</p>	<p>○服装・頭髪・遅刻指導については一部の生徒の課題は残っているが、概ね指導効果が出てきている。</p> <p>○図書室の利用マナーは改善されたが、利用率は例年通りであった。</p> <p>○2年生の修学旅行では、規範意識を持たせ、自主行動を計画通りに行わせることができた。</p> <p>○生徒会役員は主体的に活動できたが、総合力としてのチームワークに課題があり「藤工スピリット」の設定はできなかった。</p> <p>○部活動加入率は、1年生54.4%、2年生47.6%、3年生38.5%、全体45.9%で1年生は目標の50%を超えたが全体では達成できなかった。</p> <p>○「文化祭や球技大会などの学校行事に積極的に参加している」生徒が昨年より増加した。</p>	<p>○規範意識の醸成に関しては、社会人としての自覚をもたせながら、粘り強い指導をしていく。</p> <p>○図書室の利用率向上に向けてPR方法を検討する。</p> <p>○どんな場面でも主体的に行動できるよう、今後も全教職員が共通認識をもち、一致した指導を行う。</p> <p>○生徒会役員が主体となつて「藤工スピリット」を設定する。</p> <p>○部活動加入率の増加に向け新入生に積極的にPRするとともに、10月に部活動チェックの日を設定し、生活習慣、練習参加の意欲・態度、人間関係等を相互にチェックし活性化を図る。</p> <p>○生徒が主体的に行事を運営し参加できるよう、今後も全教職員が共通認識をもち、指導を行う。</p> <p>○教育相談会議やケース会議をとおり、発達障害のある生徒の情報を共有しながら、全教職員が教育相談に対する理解を深め対応していく必要がある。</p> <p>○スクールカウンセラーがケース会議へ出席したり、教育相談研修会の講師を務めるなど、連携を図ることができた。</p>	<p>【保護者】</p> <p>○頭髪・服装・遅刻などに関して、もっと校則が厳しいほうがいいと思う。</p> <p>○日ごろから生徒たちのあいさつ運動を徹底してほしい。あいさつのできる生徒は見ていて好感が持てる。</p> <p>○担任をはじめ先生方が親身に接してくれ、中学校の頃とは別人のように変わった。驚きと感謝。</p> <p>○生徒とコミュニケーションを取る時間を取ってほしい。厳しくすべきは厳しく、褒めるところは褒める。</p> <p>○生徒たちが夏休みとかにトイレ廊下のベタ塗りをしてほしい。自分できれいにした所は汚さない。</p>	<p>【学校評価】</p> <p>○授業マナーや頭髪・服装・遅刻の指導については、指導手順を確認しながら全職員で取り組むことができ、着実に成果をあげた。</p> <p>○学校行事に積極的に参加している生徒が昨年度より増えた。</p> <p>○教育相談会議やケース会議をとおり、全職員が生徒一人ひとりを理解して教育活動に取り組む意識が高まり、個々の生徒を支援することができた。</p>
	<p>○教育相談会議や研修会を有効に機能させ、全職員が共通理解を持って教育相談にあたる。</p>	<p>○スクールカウンセラーと連携し、教育相談が必要な生徒に適切に対応できたか。</p>	<p>○4月当初を皮切りに年3回、全教職員参加による教育相談会議を開催し、情報の共有化を図った。</p> <p>○発達障害のある生徒のケース会議を開催し、授業担当者を中心に生徒一人ひとりを支援する方向性がつくれた。</p> <p>○スクールカウンセラーがケース会議へ出席したり、教育相談研修会の講師を務めるなど、連携を図ることができた。</p>	<p>○教育相談会議やケース会議をとおり、発達障害のある生徒の情報を共有しながら、全教職員が教育相談に対する理解を深め対応していく必要がある。</p>	<p>【学校評議員】</p> <p>○遅刻の数を減らす取組を効果的にするため、クラスで競わせるなど工夫が必要ではないか。学校一斉清掃の取組も工夫が必要だ。いじめや登校難など生徒アンケートの結果を踏まえた指導を考えるべきだ。</p> <p>○学校全体で指導方針を統一し、教員が一丸となって取り組むと改善できた事例もある。職員意識が大切だ。</p>	<p>【改善方策等】</p> <p>○服装、頭髪、遅刻、授業マナー等の指導について、全職員の共通理解のもと指導姿勢を一致させ、一丸となって改善に取り組む。</p> <p>○部活動の加入率増加に向けて、各部活動の活動状況を相互チェックし、全職員で課題を共有化し改善に取り組む。</p> <p>○教育相談会議やケース会議を通して全職員が教育相談に対する理解を深め、生徒を支援していくというスタンスで教育活動に取り組む。</p>
責任ある学校運営体制を組織的に確立し、家庭や地域と連携した学校づくりをめざす。	<p>○職員一人ひとりが自覚を持って、事故防止・不祥事防止に関する取り組みを推進する。</p>	<p>○全職員が自己の職責をしっかりと理解し、事故や不祥事未然に防ぐことができたか。</p>	<p>○年間を通して不祥事ゼロプログラムの校内研修を積み重ねるとともに、1月からは朝の1人一言で意識啓発を図り、事故・不祥事防止に取り組んだ。</p> <p>○「緊急時、これだけマニュアル」「災害時連絡カード」を作成し、緊急時の対応について見える化を図った。</p>	<p>○校内研修を継続的に実施し、事故・不祥事防止の取り組みを推進する。</p> <p>○職員・生徒のさらなる防災意識の啓発活動に努める。</p>	<p>【保護者】</p> <p>○参観日などを増やして学校に親が行ける機会を増やしてほしい。</p> <p>○地域に貢献する活動する活動をもっと増やして取り組んだらどうか。</p> <p>○子どもから家庭に渡ってこない「お知らせ」を確実に受け取れるようにメール配信などのシステムが必要だと思う。</p> <p>○学校からの手紙やお知らせを郵送してくれるのは、とてもありがたい。もっとやってほしい。</p> <p>○ホームページや文化祭などで、もっと「ものづくり」をPRしてほしい。</p>	<p>【学校評価】</p> <p>○各グループがテーマをもって研修を主催する形式で不祥事ゼロプログラムを実施し、成果をあげた。入学選抜においても管理職も含めた点検体制をとり、事故防止に努めた。</p> <p>○例年通り、小・中学校との連携事業を行い、高校生が主体となって小中学生を教えることができた。</p>
	<p>○小・中学校や地域との連携・交流事業を充実させ、地域に信頼される学校づくりを図る。</p> <p>○家庭との連絡を密にするともに、保護者・地域に最新の状況を提供できるように取り組む。</p>	<p>○連携・交流事業において、生徒が主体的に活動できたか。</p> <p>○的確な情報発信を行うとともに、PTAや学校評議員の意見を適切に聴取ができたか。</p>	<p>○ふじさわ産業フェスタ・ワーク体験教室・小学生交流事業・出前授業・産業教育フェア・イルミネーション湘南台等で、生徒が主体となった交流事業が実施された。</p> <p>○ホームページのトップページを改良して、本校の魅力・特色をアピールできるようにするとともに、月1回以上の更新を行い、素早い情報発信に努めた。</p> <p>○PTA、教職員が連携した登下校指導を実施するとともに、PTA広報紙、企画会便り、保護者への便り等により保護者が学校の実態を把握できるように努めた。</p>	<p>○コミュニケーション能力の向上をめざし、交流事業やイベント等において、多くの生徒が子どもたちに教える機会をもてるよう、活動を支援する。</p> <p>○さらに見やすく、わかりやすい情報提供に取り組む。</p> <p>○第三者評価の実施にあたり、より的確にPTAや学校評議員の意見を取り入れた取組を進める。</p>	<p>【学校評議員】</p> <p>○地域交流を小中学生は楽しみにしており、藤沢工科のイメージも良くなっている。プラス要素を生徒に知らせて自信を持たせてほしい。</p> <p>○小学生にあこがれを持ってもらえるように生徒が活躍できるとよい。</p> <p>○ホームページが充実している学校の取組がよくわかる。外から見てもイメージが良くなった。どういった取組で学校がよくなったのかを把握しておくことが必要。また、新聞や報道でよいイメージを発信することが大切。</p> <p>○先生方の業務量が多いことへの工夫が必要。また、生徒や外部への説明の分かりやすさが求められる。ICT化を進め、パワーポイントなどの活用をしてほしい。</p>	<p>【改善方策等】</p> <p>○不祥事防止の更なる意識啓発を図り、事故・不祥事ゼロに取り組む。</p> <p>○学校評議員会の意見をもとに校内の問題点を明確にし、その改善を進めることにより信頼される学校づくりを行う。</p> <p>○開校10周年の節目として、同窓会・PTAを含めて生徒に還元できる記念事業を実施する。</p>